

総合計画 体系	事務事業名		公共施設解体撤去事業		所属部	三刀屋総合センター		所属課	自治振興課	
	政策名	〈Ⅰ〉みんなで築くまち≪協働・行政経営≫			所属G	自治振興グループ		課長名	味田 晃子	
	施策名	〈08〉健全財政の維持			担当者名	勝平 誠		電話番号	0854-45-2111	
	目的・対象	市の財政	意図	健全に運営する。		(内線)	4304			
	基本事業	〈025〉効率・効果的な財産の管理運用			予算科目	会計：款		大事業	公共施設管理事業	
	目的・対象	基金・財産	意図	効率・効果的に財産を管理運用する。		0:1:1:0:0:8	中事業	公共施設解体撤去事業		

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
三刀屋総合センター庁舎施設 職員 雲南市民	老朽化等により利用が見込めない市有施設を解体撤去し、市有地の新たな有効利用につなげる
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ■ 単年度のみ □ 単年度繰返(年度～) □ 期間限定複数年度(年度～ 年度)	昭和55年建設の建物であり耐用年数を経過している。書庫として利用していたが、建物の老朽化に加え、平成20年の火災により建物全体が損耗し、近年、雨漏りが急速に進行していた。改修には相当な費用が見込まれるため、解体する方向で協議を進めてきた。
④ 主な活動 R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
・一般廃棄物処理 ・有害物資(アスベスト)調査業務 ・文書保管棚運搬 ・旧三刀屋総合センター別館解体工事 ・旧三刀屋町防災無線通信線撤去	残存文書類、備品等の処分については、総合センター職員で運搬を行い支出を抑えている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 解体撤去に伴う経費	千円			52,815	
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
・一般廃棄物処理手数料 43千円 ・有害物資(アスベスト)調査業務 996千円 ・文書保管棚運搬手数料 238千円 ・旧三刀屋総合センター別館解体工事 51,478千円 ・旧三刀屋町防災無線通信線撤去手数料 60千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円		50,100	
		その他	千円		2,700	
		一般財源	千円		15	
地方債:合併特別債 その他:大規模事業基金繰入金	事業費計	千円	0	0	52,815	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	老朽化した施設の維持管理や修繕にかかる業務・経費を削減できる。 また、建物の解体撤去により、新たな市有地の有効利用が望める。
② 事業実施するうえでの課題	解体撤去工事を実施するために、有害物資調査業務や設計等の専門的な知識・技術が必要。総合センター職員だけでは対応できないため他部局や業者と連携して業務にあたる必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	建設部に営繕協議。また、解体撤去工事の経験がある部署から情報提供をお願いする。 跡地利用について、地元住民の要望や市役所他部局との調整を図る。